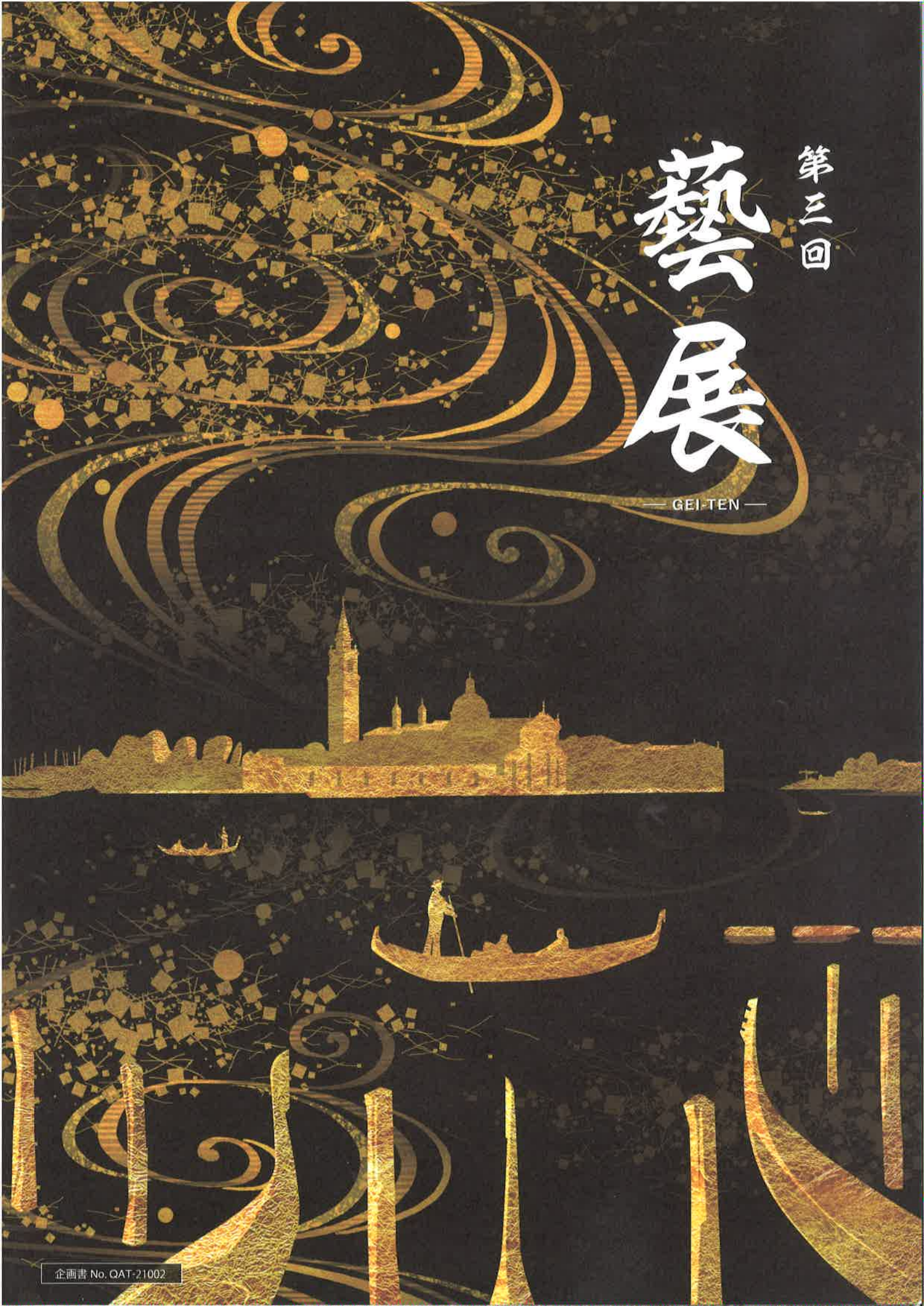


第三回

# 藝展

— GEI-TEN —





— GEI-TEN —  
第三回 藝展

世界中で感染が拡大している新型コロナウイルスによって、犠牲になられた方と  
そのご家族、罹患された方々に謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。

かつて日本の政治や文化の中心地として栄えた京都の、往時をしのぶ歴史的文化財、清水寺。私たちは  
このユネスコの世界文化遺産にも登録されている名刹を舞台に、4半世紀に渡って、日本人による多彩な  
表現の魅力を展覧し続けてきました。世界中から人が訪れる文化都市である京都において、私たちが文化  
芸術の発展を願い重ねた実績は、小さくはないと自負しております。

1271年、17歳の少年が父とともにヴェネツィア共和国から中国へと旅立ち、帰国後に見聞きした出来事  
は口述によってまとめられます。少年の名前はマルコ・ポーロ。記録は『東方見聞録』として後世に広まり、  
「黄金の国(ジパング)」と記された日本は、今日のわが国を表すジャパンという呼称を得ることとなり  
ました。

日本とも関わりの深いマルコ・ポーロの旅立ちから、750年という節目を迎えました。これを記念して  
本年は、偉大な冒険家の故郷であるヴェネツィアと京都を結んで、「第三回 藝展」を開催する運びと  
なりました。

水の都として知られるイタリアのヴェネツィアは京都と同様、1千年以上にわたり共和国の首都として  
栄え、世界文化遺産に登録された古都であり、ルネサンス時代にはティツィアーノ・ヴェチェッリオや  
ティントレットを始めとするヴェネツィア派が活躍した芸術の都でもありました。また「第三回 藝展」が  
巡回する2022年には、126年の歴史を持つヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展(第59回/4月から11月)  
の開催が予定されており、世界中の人々と最新の表現が集まるなか、本展は華々しく開催の日を迎えます。

芸術による文化交流で、未来の世界に希望と感動をもたらすべく開催する「藝展」に、是非ともご参加  
いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

藝展実行委員会委員長  
株式会社クオリアート 代表取締役社長

折田 英俊



展覧会場外観



展覧会場内観

### 国内展：開催概要

会期：【前期】2021年12月3日(金)～12月5日(日) 予定

【後期】2021年12月7日(火)～12月9日(木) 予定

会場：音羽山 清水寺 圓通殿

レセプション会場：洗心洞



### 清水寺 圓通殿

清水寺は798年に建立された北法相宗の本山で、平安京遷都以前からの歴史を誇る寺院の1つ。本堂前面に張り出した「清水の舞台」があることで知られ、1994年には「古都京都の文化財」としてユネスコの世界文化遺産に登録されました。開創1200年を記念して建立された大講堂の西翼棟、圓通殿には、清水寺御本尊十一面千手千眼観世音菩薩立像(御前立)が安置されています。

### 海外展：開催概要

会期：【前期】2022年3月19日(土)～3月21日(月) 予定

【後期】2022年3月23日(水)～3月25日(金) 予定

会場：クエリーニ・スタンパリア美術館 [イタリア・ヴェネツィア]



展覧会場外観



展覧会場内観

### クエリーニ・スタンパリア美術館 (Fondazione Querini Stampalia)

1869年に設立された芸術財団Fondazione Querini Stampaliaによる、ヴェネツィアを代表する美術館。1階には図書館があり、34万を超える所蔵からヴェネツィア市立図書館・歴史センターとしても知られています。2階の常設展示室では18世紀の家具や工芸、14世紀から18世紀のヴェネツィア派の絵画作品群や彫刻を展示しており、庶民の祝祭がいきいきと描かれています。なかでもジョヴァンニ・ベッリーニの「キリストの神殿奉獻」はクエリーニ・スタンパリア美術館の至宝と名高く、世界各国から芸術・建築関係者が絶えず訪れる、ヴェネツィアでも貴重なバラツィオ(宮殿)として知られています。



## 開催慶祝の言葉

平安建都1200年を記念して開催以来、約4半世紀にわたって当山で開いてまいりました書画展を前身とする「藝展」が、本年も開催されることを心より歓迎いたします。

音羽山の中腹に開創されてから、清水寺は大慈大悲をあらわす観音様の霊場として、平安時代より今日まで多くの人々が参拝に訪れてきました。当山は春の桜と夏の新緑、秋の紅葉と冬の雪景と、四季折々に趣を変える日本の風情に溢れ、心の琴線に訴える芸術を発表する舞台として、人々に静謐な心をもたらしてくれるでしょう。

本展では、日夜芸術の創造に精進される諸先生方のお作品とともに、特別展示として当山の森清範貫主、並びに月照上人、大西良慶和上の書画数点もご鑑賞いただく所存です。

現代の精鋭作家による多彩な分野の芸術表現をご高覧いただくとともに、当山の慧日風光を心ゆくまでお楽しみ下さいますようお願いしまして、当山からのご挨拶とさせていただきます。

合掌  
音羽山 清水寺

### 過去開催模様

#### ■ 国内展(清水寺 圓通殿)



正面入口メインバナー



清水寺歴代住職の書の展示



森清範貫主のお話真剣に耳を傾ける来場者



賑わう展覧会場

#### ■ 海外展(ポーランド国立 ワルシャワ・ポスター美術館)



会場外観



多くの人が集まったセレモニー



書道パフォーマンスも開催



豪華な来賓との饗問

お問い合わせ先

# QUAIART

株式会社 クオリアート

<http://www.quaiart.co.jp>

東京本社 / 〒104-0061 東京都中央区銀座5-14-1 銀座クイントビル7F  
TEL (03) 6853-0009 FAX (03) 6853-0040

大阪支社 / 〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満1-2-5 大阪JAビル5F  
TEL (06) 6311-1400 FAX (06) 6361-3283

